

海老名市立社家小学校 学校運営協議会 議事録  
(令和5年度 第1回)

- 1 日時 令和5年6月12日(月) 13:30~15:00
- 2 場所 海老名市立社家小学校 家庭科室
- 3 出席委員 曾我治夫委員長、田口昭夫副委員長、井桁きよ子委員、米山靖恵委員、大乘文孝委員、井出行雄委員、曾我慶明委員、曾我幸治委員、米山恵委員、金子幸枝委員、浅岡輝委員、梅崎玲子校長、尾崎由美教頭

4 会議の内容

(1) 挨拶

曾我会長：新体制となった今年度も、子どもたちのために「何を大事にして、何を実行していくのか」、ということをしっかり議論していきたいと思う。協力の程お願いしたい。

梅崎校長：今年度はいろいろな行事が実施可能となっている。まずは遠足、校外学習が無事に終わった。5年生の野外教育活動は、今年度は9月に実施予定。現在計画を立てている。水泳学習や1年生歓迎集会も無事実施できた。とりわけ1年生歓迎集会に関しては、雨天の影響もあったが、体育館に全校で集まってレクレーションを行うことができた。これはコロナ禍では難しかったことである。個別懇談会も無事に実施できた。子どもたちはそれぞれ様々な状況の中ではあるが、学校として新たなスタートを切ることができている。

(2) 委嘱状交付

4月より新規委員の井出委員、曾我慶明委員、金子委員、浅岡委員、尾崎委員へ委嘱状交付。

(3) 自己紹介

(4) 令和5年度の学校経営方針について

梅崎校長：学校教育目標に関する柱は「自ら学ぶ子」「思いやりのある子」「礼儀正しい子」「たくましい子」の4つである。そこから、めざす学校像、児童像、教師像を具体的に考えた。特に児童像は「し」「や」「け」の頭文字から、「しんけんに考え学び合う子」「やさしい心をもち助け合う子」「けんこうで、ねばり強い子」とした。また、今年度の重点目標は、「授業で子どもを育てる」「学びのコミュニティーをつくる」と設定した。本校はひびき

あう教育実践研究校として、今年度末に実践発表を行う。教科は国語で、昨年度から研究を重ねてきた。「子どもたちが主体的に学習に取り組むことができる国語科」をめざし、授業改善、人間関係づくり等を推進している。そのために校内に三つの「教育課程・校内研究グループ」「支援教育・児童指導グループ」「健康・安全グループ」を置き、それぞれのグループが連携しながら指導を進めている。また、毎年行っている学校評価の項目を有馬中学校区で統一するなど、学区としても様々な連携をしている。学校応援団やPTA、地域の皆様に支えていただきながら、教育を進めているところである。

#### (5) 今年度の学校運営費について

梅崎校長：今年度のひびきあう教育実践事業計画書についてである。(資料5)

具体的には資料をご覧ください。基礎運営事業に始まり、様々な事業を計画している。校内研事業として、今後「1人1台端末授業活用研究」などに力を入れていく必要がある。また「特色ある取組事業」として、社家小学校の特色を生かした事業についても引き続き充実させていきたい。特に「キャリア教育」に関しては、社家小学校としての大きな特色であるといえるので、継続・充実させていきたい。

尾崎教頭：資料6「令和5年度学校運営協議会実施計画」について。社家小学校の児童の実態や地域の特色等について記載されている。何かご意見があれば伺いたい。

→特になし。

#### (6) グループ協議

- ・3グループで実施。
- ・テーマ『社家小の子どもたちのこんな所を伸ばしたい、こんな風に育ってほしい』

佐々木委員：コロナ禍の影響により、体力の低下、リズム感等の運動能力の低下が懸念される。何か取組ができれば。また、過去は田んぼや相模川を活用した学習をしていたが、なくなってしまったので、何かできることはないか考えてもよいかもしれない。推進していくなら水の事故等、安全面に配慮した上で行う必要がある。そういったことも協力できれば。子どもたちの放課後等の交流、外遊びも減ってきているのではないか。遊び場の減少、保護者同士の交流の希薄化などの影響もあるのでは。地域として子どもの遊び方への理解を深める必要がある。

また昨今、地域として一番課題と考えているのが、保護者の車による子どもの送迎である。子どもの登下校の安全のため、車で送迎を行わない旨、PTA活動等をとおして周知を徹底していく必要がある。

米山恵委員：今年度、挨拶ができる子が増えてきていると感じる。また、1年生への

ボランティアなど、地域の積極的な協力体制から社家の風土のあたたかさを感じる。他学年にもボランティアの輪がさらに広がるといいと思うが、現在の取組のように1年生の段階で手厚く支援してもらうことで、子どもたちは多くの人に支えられて育っていると無意識に感じる事ができるのではないか。

梅崎校長：児童の挨拶について。挨拶がとてもよくできているというお声をいただいた。ありがたい。

通学路について。今まで必要箇所に横断歩道が設置されていなかったという問題があったが、一部の通学路に子どもの登下校にとって有効な横断歩道が設置されることとなった。一方、下校時にその横断歩道を渡った箇所にとどまって話をしている児童が出てくるなど、新たな指導点も明らかになった。

社家小西側道路の拡張について。学校の敷地内の桜を伐採する等して拡張をしていく計画について、自治会の方で市の職員から説明があった。もう一点、延山の第二踏切の拡張についても、地域に説明があった上で進められていく。学校には道路課からすでに説明があった。

大乘委員：5月の学校だよりについて。内容の中にあった「子どもたちのピカイチ見つけ」「ピカイチ磨き」というキーワードがとてもよかった。今後職員や保護者がそういった視点で子どもと接していけるかで、子どもの成長に大きく関わるのではないかと思う。3月での変容が楽しみである。

## (7) その他

次回の、学校運営協議会は、令和5年10月11日（水）13:30から開催予定。